

運輸安全マネジメントへの取り組み

有限会社 ビートル

安全方針

有限会社ビートルは、輸送の安全確保が自動車運送事業者の社会的使命と深く認識し、全社員に輸送の安全の確保が最も重要であるという意識の徹底を図り、安全マネジメント体制の維持、継続的な改善に努めるため、次のとおり安全方針を定める。

1. 代表者（経営者）は、輸送の安全確保が事業経営の根幹であることを深く認識し、社員に輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を徹底させます。
また、社内において輸送の安全の確保に主導的な役割を果たします。
2. 運輸安全マネジメントを確実に実施し、全社員が一丸となって業務を遂行することにより、絶えず輸送の安全性の向上に努めます。
3. 輸送の安全に関する情報について、積極的に公表します。

平成 24 年 4 月 1 日

有限会社ビートル
代表取締役 加藤武彦

輸送の安全目標

1. 事故削減目標

	重大事故		交通事故		内訳
	目標	実績	目標	実績	
平成 23 年度	0 件	0 件	0 件	7 件	7 件[物損 5 件(内無責 2 件)]
平成 24 年度	0 件	件	0 件	件	

※ 1. 重大事故は、自動車事故報告規定第 2 条に規定する事故をいう。

※ 2. 交通事故は、重大事故を除く有責・無責の全ての事故をいう。

2. 関係法令及び社内規定の遵守を確保

関係法令及び社内規定（安全を管理する規定等）の遵守は、四半期毎に教育を実施します。

3. 安全管理の取組状況の点検と改善

安全を管理する規定に基づく、「安全管理の取組状況の自己チェックリスト」により 1 年に 1 回以上チェックを行い、全員で必要に応じて問題の解決に向けた対策を講じます。

4. 輸送の安全に関する教育、研修の計画を作成し、これを適確に実施します。

- ① 事故防止対策会議（毎月 1 回開催）
- ② ドライバーミーティング（毎月 1 回開催）
- ③ 事故惹起者への指導（事故発生時）

平成 24 年 4 月 1 日

有限会社ビートル
代表取締役 加藤武彦

平成 23 年度輸送の安全に関する公表（情報公開）

有限会社ビートルは、平成 23 年度運輸安全マネジメントに関する取り組みについて、次の通り輸送の安全に関する公表を行っております。

1. 輸送の安全に関する基本的な方針

- (1) 代表者（経営者）は、輸送の安全確保が事業経営の根幹であることを深く認識し、社員に輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を徹底させ、また、社内において輸送の安全の確保に主導的な役割を果たします。
- (2) 運輸安全マネジメントを確実に実施し、全社員が一丸となって業務を遂行することにより、絶えず輸送の安全性の向上に努めます。
- (3) 輸送の安全に関する情報について、積極的に公表します。

2. 輸送の安全に関する目標及び当該目標の達成状況

- (1) 事故削減目標
 - ① 重大事故 0 件
 - ② 交通事故 0 件
- (2) 目標の達成状況
 - ① 重大事故 0 件
 - ② 交通事故 0 件

3. 自動車事故報告規則第 2 条に規定する事故に関する統計

（総件数及び類型型の事故件数）

	重大事故		交通事故		内訳
	目標	実績	目標	実績	
平成 21 年度	0 件	0 件	0 件	10 件	10 件[人身 0 件、物損 10 件(内無責 1 件)]
平成 22 年度	0 件	0 件	0 件	13 件	13 件[人身 0 件、物損 13 件(内無責 0 件)]

4. 輸送の安全のために講じた措置及び講じようとする措置

(1) 運転者教育・研修

運転者年間教育計画を作成し、初任運転者研修、適齢運転者研修、現任運転者研修及び初任、適齢、現任運転者に対する関係法令の遵守、ヒヤリハット等の小集団教育を実施して輸送の安全確保に向けた意識の向上を図ります。

- (2) 交通安全運動等期間中は、事故防止運動を実施します。
 - ・春の全国交通安全運動
 - ・夏の事故防止運動
 - ・秋の全国交通安全運動
 - ・年末年始自動車輸送安全総点検
- (3) 輸送の安全に関する安全管理の取組状況の点検と改善については年間に1回以上実施し、是正・予防措置を講ずるとともに、継続的改善に努めます。

5. 輸送の安全に係る情報の伝達体制その他組織体制

別紙1 図1, 2による

6. 輸送の安全に関する教育及び研修の計画

- ① 事故防止対策会議・・・・・・・・・・毎月1回開催
- ② ドライバーミーティング・・・・・・・・毎月1回開催
- ③ 事故惹起者に対する指導・・・・・・・・事故発生時

7. 輸送の安全に関する安全管理の取り組み状況の自己チェックリスト及び措置内容

- ・本社の全ての部署で安全管理の取組状況の確認を実施しました。
- ・実施結果は、見直しと継続的改善への取り組みについて、再徹底を行いました。
- ・フォローアップ監査において、改善されたことを確認しました。

8. 行政処分内容、講じた措置等

- 20年度、行政処分なし
- 21年度、行政処分なし
- 22年度、行政処分なし

輸送安全目標／輸送安全計画

【輸送の安全性向上のための基本方針】

当社は、輸送の安全性向上を最重要課題とし、運輸関連法令を遵守した上で、安全マネジメントシステムを構築運用し、全社員で事故削減に努めて参ります。

1. 当社の最重要課題は、「輸送の安全」です。
2. 「輸送の安全」を達成するために、「輸送安全目標」を掲げます。
3. 「輸送の安全目標」を達成するために必要な「輸送安全計画」を設定します。
4. 「輸送の安全性向上のための基本方針」を実現させるために、運用する「仕組み」を「安全マネジメントシステム」とします。
5. 「安全マネジメントシステム」の運用結果は、毎年、向上出来る様に努力します。
6. 当社は、運輸関連法令の遵守を確実にします。
7. 「安全マネジメントシステム」の運用結果、改定内容を当社HPにて公開します。

2012年4月1日

有限会社ビートル
代表取締役 加藤武彦

【当社の今年度（2012年4月～2013年3月）の輸送安全目標】

人身事故 年間 0件、物損事故 年間 0件

【輸送安全目標を達成するための主な輸送安全計画】

- ①外部講師を招いての事故防止講習会開催（全員の受講）
- ②春、秋の交通安全運動への参加
- ③ヒヤリハット情報の検討・改善・報告会
- ④事故防止対策会議、ドライバーミーティング（毎月1回開催）
- ⑤外部主催の事故防止講習会への出席（適宜）
- ⑥外部主催の運輸安全マネジメントに関するセミナー・講習会に出席
- ⑦セーフティーチャレンジに参加し、無事故・無違反へ挑戦（7月～12月）

図-1

安全管理体制図

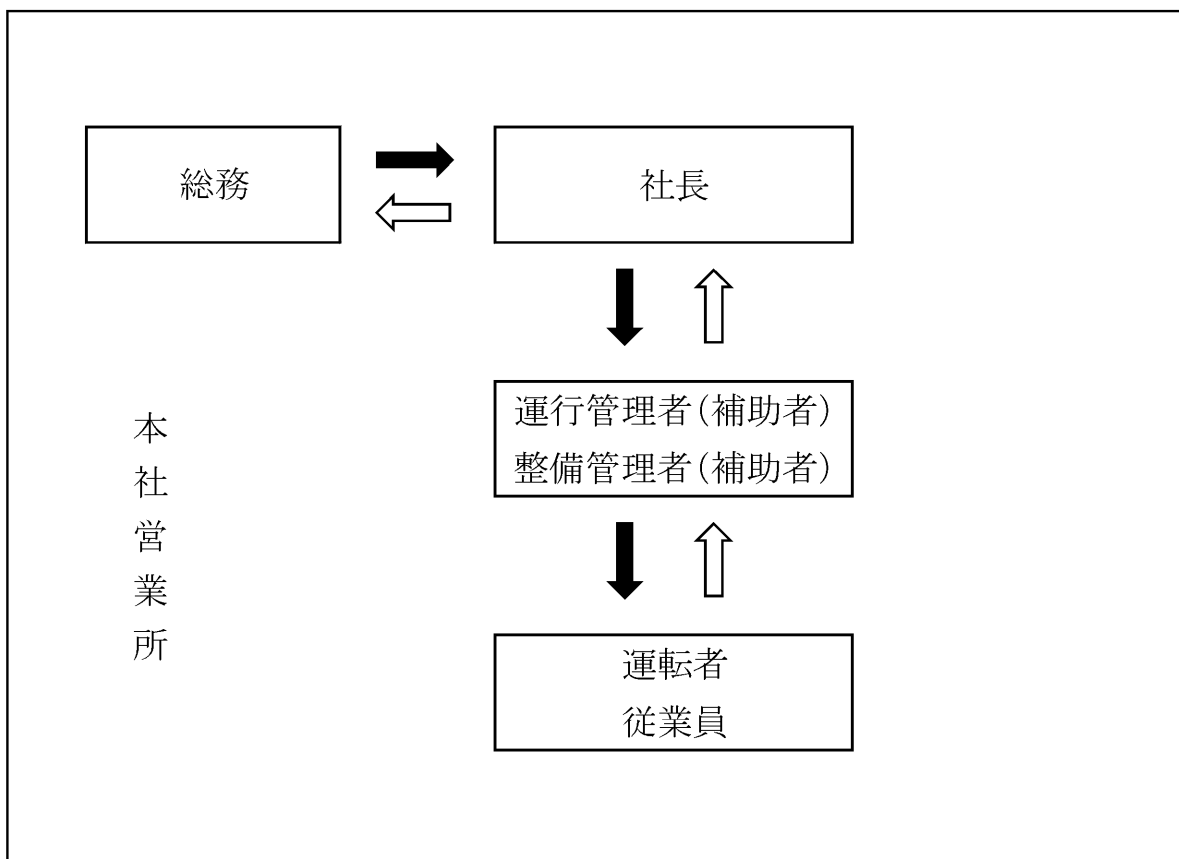
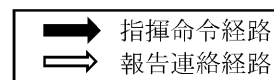
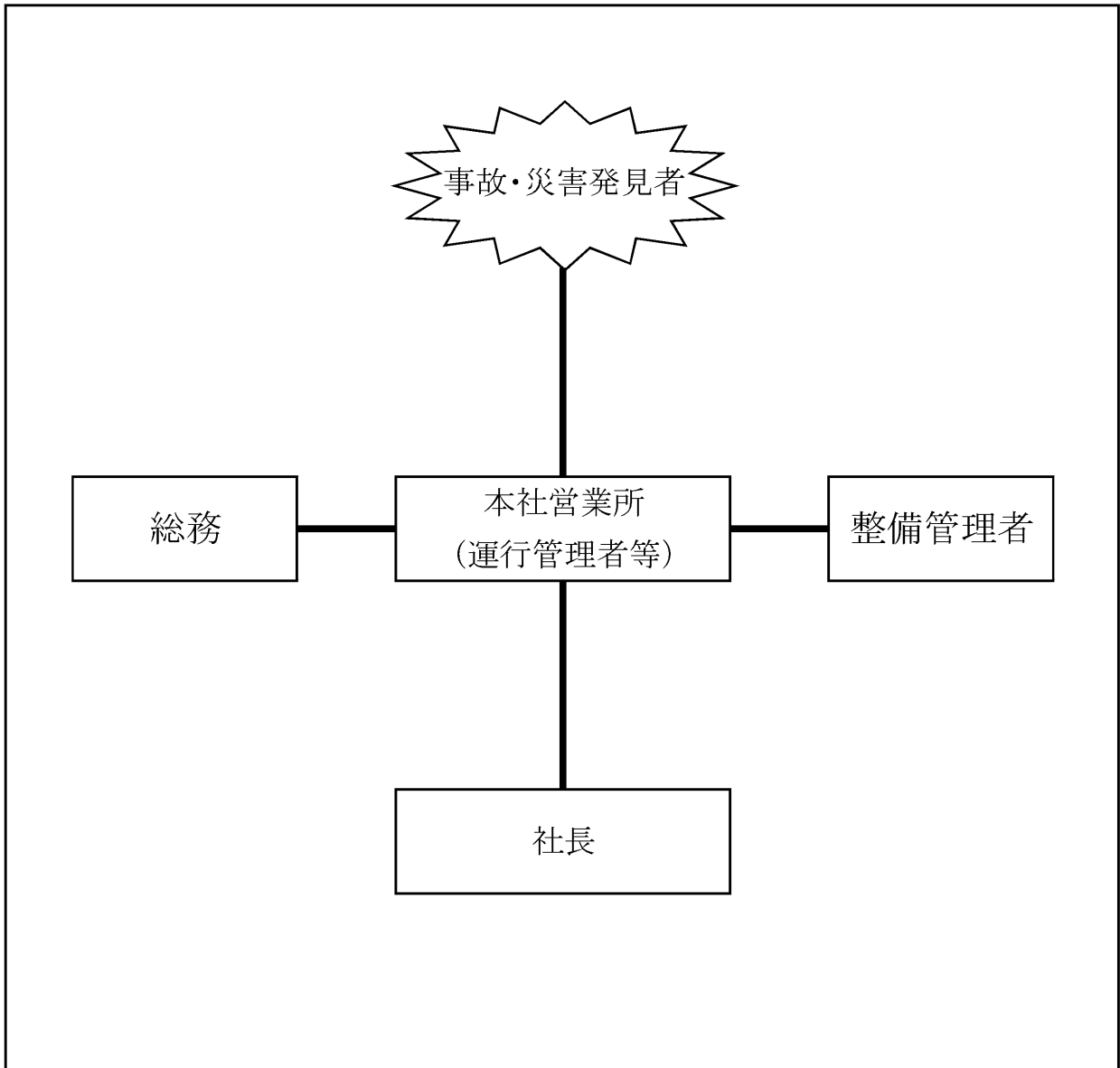


図-2

事故・災害等に関する報告連絡体制図



[安全管理の取り組み状況の自己チェックリスト]

(※)以下のチェックリストを活用し、年に1回は自社の運輸事業の安全の取り組み状況を定期的に確認します。また、チェックリストは記録・保管し、次回のチェックの際、昨年との比較を行います。

		点検日： 年 月 日	
自己点検チェックポイント		判定	特記事項
1	代表者(経営者)は、法令を守ること、安全を最優先とすることなどの考え方を盛り込んだ安全方針を作っているか。		
2	代表者(経営者)は、安全方針を社内周知しているか。		
3	代表者(経営者)又は安全統括責任者は、安全方針を実現するため、1年ごとに安全目標を作っているか。		
4	安全運行に努め安全目標を達成したか。		
5	代表者(経営者)は、重大事故が発生した場合の対応方法を決めているか。		
6	代表者(経営者)は、安全に必要な設備の更新・整備や人員の配置などを行っているか。		
7	安全統括責任者は、安全方針を社内に周知しているか。		
8	安全統括責任者は、その職務を把握し、社員を指揮・指導し、安全の目標の達成に向けた取り組みを積極的に行っているか。		
9	安全統括責任者は、代表者(経営者)との連絡を密にし、輸送の安全に関する情報を集め、代表者(経営者)に報告しているか。		
10	安全統括責任者は、安全管理の実施体制における各自の責任・役割を明確に定めているか。		
11	安全統括責任者は、安全管理の実施体制における各自の責任・役割は周知しているか。		
12	社内において、輸送の安全に関する定期的な話し合いを行っているか。		
13	代表者(経営者)は、社員と直接話す機会を作り、安全に関する指示・指導をしたり、社員から意見・要望を聴いたりしているか。		
14	荷主様から輸送の安全に関する意見・要望を収集しているか。		
15	関係法令や社内規則を遵守して、安全運行しているか。		
16	安全管理・運行管理に関する社内規定が適切に管理されているか(必要な部署への配布・保管、改廃手続きの適切な実施と表示)		

17	下請事業者の輸送の安全を阻害することをしないようにしているか。		
18	安全運行に必要な教育・訓練を定期的実施しているか。		
19	代表者(経営者)や安全統括責任者等は、外部が主催する運輸安全マネジメントに関する研修などに参加しているか(社内教育の受講も含む)。		
20	18及び19の教育・訓練などの実施状況を記録しているか。		
21	事故が発生した場合、代表者(経営者)まで事故の情報が現場から報告されるようになっているか。		
22	発生した事故の再発防止策を考え、実行しているか。		
23	ヒヤリ・ハット情報を集め、事故防止に活用しているか。		
24	他社の事故事例等を集め、自社の事故防止に活用しているか。		
25	緊急速報・連絡先を少なくとも1年ごとに見直し、電話番号等に変更がないかどうかを確認しているか。		
26	21～25の実施状況を記録しているか。		
27	事故が発生した場合、必要な報告を国土交通省にしているか。		
28	代表者(経営者)は、少なくとも年に1回は安全の確保に向けた取り組み状況(安全目標、安全目標達成に向けた取り組み、安全の取り組み体制、情報の伝達体制、事故防止策、教育・訓練等)を点検し、問題があれば改善しているか。		
29	上記28の実施状況を記録しているか。		

※ 『判定』欄 完全実施○、一部実施△、実施していない× を記入する事。

※ 『特記事項』欄には、自社で行っている取り組みの概要や取り組みが困難な理由・問題、前回のチェック時から改善した点などを記入すること。

安全の確保の状況の点検の結果判明した問題とその解決のため他対応した状況		
判明した問題	実施日	解決のため対応した状況

年 月 日

署名: _____